

西日本旅客鉄道株式会社・アジア航測株式会社

地域企業/市民との連携による 地域力強靱化型インフラマネジメント

【テーマ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他 ()

【対象施設】 道路 橋梁 公園 上下水道 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他 ()

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI 包括的民間委託 / その他 ()

マネジメント会社と地域企業が連携した包括委託体制で、インフラ・まちづくりデータの見える化や利活用、地元企業の技術力向上、市民参画を推進。鉄道などで地域と共に歩んできた組織力を活かし、行政・市民・地域企業と協働してインフラ管理の最適化と持続的な地域力強化を実現します。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

【提案により解決できる自治体の課題】

- ①コア業務への注力やデータ連携によるまちづくりとインフラ管理の更なる連動
 - ②多分野連携や広域連携を見据えた事業スキーム検討
 - ③地元企業の経営安定化、技術力向上
- 上記課題を一体的に解決し、持続可能なインフラマネジメントと地域力の強靱化を実現。

【解決策イメージ】

本提案では、市、地元企業、マネジメント会社がそれぞれの強み・役割を發揮し、対話やデータ連携を通じて業務効率化と運営管理の高度化を実現。さらに、市民のまちづくりやインフラ管理への参画を促進し、次世代の担い手育成も組み込み、将来的な多分野・広域連携を見据えた「地域力強靱化型スキーム」を構築。

【対応する自治体コース】

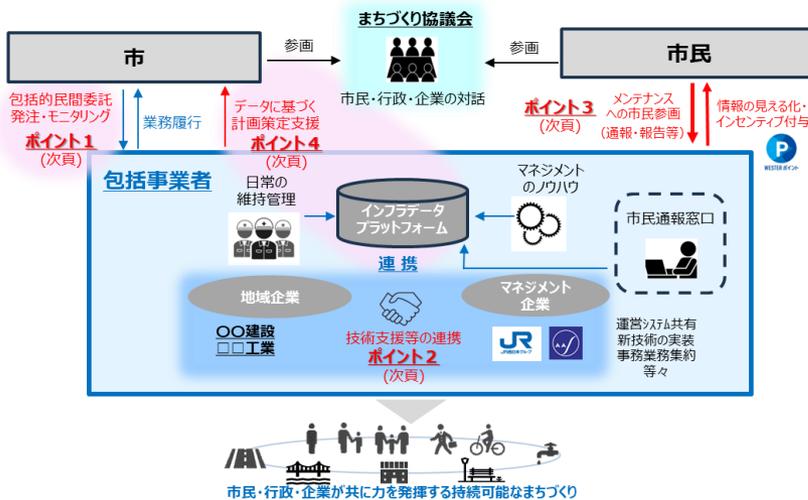
- ◆ 兵庫県宝塚市
- 「地域の力(市民・行政・企業)を強靱化する包括委託の検討」
本提案は、上記で言及される「職員業務の逼迫解消」、「市民対話の充実」、「地域企業の技術力向上」等の課題解決を図る。
※宝塚市においては道路等からの開始を想定する。

②提案内容

◆「まちづくり」と「インフラメンテナンス」を連動させ、これからも魅力的な地域であり続けるための仕組みの提案

【事業推進体制】マネジメント会社と地域企業が参画する事業体（JV / SPC）にインフラの維持管理を長期・包括的に委託。インフラ管理に留まらず、データ利活用等でまちづくりとも連携。
【マネジメント会社の役割・必要性】一体的なアセットマネジメントや維持管理データ等の利活用、市民窓口の一元化などを通じて、維持管理計画や点検・補修、予算管理などインフラ管理全体を効率的かつ柔軟にマネジメント。加えて、まちづくりやインフラにまつわるデータの「見える化」を推進し、行政が主導する市民との対話や協働を支援。また、地元企業には安定的な業務発注や技術講習を通じて更なる活躍・成長の機会を創出するとともに、市民がまちづくりやインフラ管理にさらに参画しやすくなるよう、情報発信や施策展開（例：インセンティブ設計）など地域全体のマネジメントを市のパートナーとして推進。

事業推進体制



役割分担

- 市**
 - 政策立案・計画策定
 - 住民対話
 - 事業モニタリング 等
- マネジメント企業 共同企業体**
 - インフラマネジメント
 - データ統合・活用
 - 市民窓口
 - 技術講習 等
- 地域企業**
 - パトロールや維持作業 等の日常管理
 - 緊急時の即応 等
- 市民**
 - インフラメンテナンスの担い手としての市民参画
 - まちづくりへの主体的関与

導入効果

- コア業務への注力
- まちづくりとインフラメンテナンスの連動等による政策立案の高度化・精度向上
- ノウハウの活用による更なる地域貢献・事業機会の獲得
- 行政・地域企業との繋がり深化
- 長期・一括受注による安定した受注機会の獲得
- 技術講習受講による技術力向上（長期的には業務幅の拡大による雇用維持・経営安定化の効果もあり）
- 持続可能なインフラサービス享受
- インフラマネジメントへの参画によるシビックプライドの醸成

※左図の各ポイントについては次項で詳細記載

西日本旅客鉄道株式会社・アジア航測株式会社

地域企業/市民との連携による
地域力強靱化型インフラマネジメント

【テーマ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他 ()
 【対象施設】 道路 橋梁 公園 上下水道 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他 ()
 【事業方式】 コンセッション / その他のPFI 包括的民間委託 / その他 ()

マネジメント会社と地域企業が連携した包括委託体制で、インフラ・まちづくりデータの見える化や利活用、地元企業の技術力向上、市民参画を推進。鉄道などで地域と共に歩んできた組織力を活かし、行政・市民・地域企業と協働してインフラ管理の最適化と持続的な地域力強化を実現します。

②提案内容

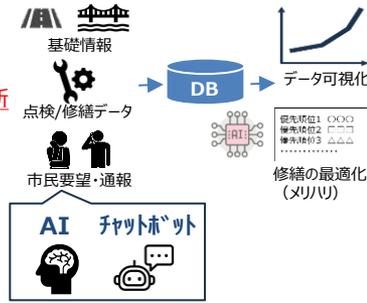
ポイント1 維持管理・市民窓口等を含む・長期的に委託し、自治体職員負担軽減
民間企業の能力を最大限に発揮することで、業務効率化・長期視点での
マネジメントを推進

How

- ・公共インフラ(鉄道)を長期にわたりアセットマネジメントしてきたノウハウの活用
- ・点検データや交通量等のデータを利活用し、点検・修繕箇所の優先順位付け(メリハリある対応)
- ・AIオペレーターやチャットボットも活用した市民窓口

効果

- ・自治体職員の業務負担減
- ・業務効率化とライフサイクルコストの低減
- ・通報情報の精度向上による的確な対応



ポイント2 新技術導入支援や、地域への研修機会の提供（橋梁補修講習会等）を通じて、**地元企業**の「地域力」を向上

How

- ・有資格者(例:コンクリート補修施工管理技士)による講習会
- ・トラブル対応実績や他自治体等で発生した事象等の蓄積・共有
- ・新技術活用の検討・導入支援
- ・橋梁点検講習会の開催

効果

- ・地域企業の技術力向上
- ・品質の均一化
- ・地元企業による緊急時の対応力向上



鉄道分野での企業様との講習会の様子

ポイント3 インフラメンテナンスへの「自分事化」で**市民**の「地域力」を向上

How

- ・インフラ情報等の情報発信(多くの方が目に触れる場所(駅等)を活用)
- ・市民のインフラメンテナンス参画に対しインセンティブ付与(ポイント付与、地域貢献表彰/サポーター認定等)
- ・市民・鉄道・自治体連携で防災訓練の開催

効果

- ・インフラメンテナンスへの市民参画を促進
- ・市民のインフラや防災に対する意識醸成



ポイント4 まちづくりに関するデータの見える化や市民対話支援を通じて、**行政**の「地域力」を向上

How

- ・データ集約によるインフラデータの見える化
- ・各種データ(例:インフラメンテナンス×人流データ)の利活用によるまちづくり提案
- ※インフラメンテナンスの優先順位付けとも連動(ポイント1記載)
- ・市民とのワークショップ支援

効果

- ・根拠に基づく市民納得感の向上
- ・対話を通じた合意形成の迅速化



人流データで橋梁使用者の特性を把握



市民とのワークショップ支援

【先進性】

- 単なる包括的民間委託ではなく、地域力(市民・行政・企業)を強化するスキームの提案である部分に先進性を有す
- ・インフラメンテナンスとまちづくりとの連動
- ・地域企業の技術育成を組み込み設計
- ・市民参画型のインフラメンテナンス促進のためのインセンティブ設計

【有効性】

- 自治体 : コア業務(市民対話等)への注力
- 地域企業 : 技術力確保、業務領域拡大
- 地域市民 : 市民通報窓口の一元化による利便性向上
- インフラオーナーとしての意識改革、シビックプライド醸成
- 安定的にインフラサービス享受

【汎用性】

- 包括的民間委託を導入するにあたり、多くの自治体が抱える悩み(地域企業への影響、多分野展開への懸念、行政・地域企業双方の技術力低下等)を一體的に検討・解決するモデルであり、他自治体への展開が可能。道路・上下水道・公園など分野に問わず展開可能な汎用性が高いマネジメントスキームである。